

銚子七中
学校だより

坂東太郎

令和元年7月8日
第 16 号

校長閑話

COUNT DOWN 閉校まであと 632日



☆自然の宝庫、高原別荘地？

人の視線では見えないものがありますが、学校の周辺の環境もその一つです。本校北側は道路に面し、西側は豊里台の住宅地が広がります。また、北側を見渡せば利根川を望むことができますが、南側には広大な山林が広がっています。写真からは、どこかの高原別荘地のようにも見えるので不思議です。この山林には多くの動植物が生息していると聞きます。その昔、教え子がよく山菜を取ってきてくれたのもこの山林でした。

また、サルも出没したことから、この山林を住处にしていたようです。豊里台の住宅地とは対照的なこの山林には多くの魅力が隠れていそうです。



☆七中サポーターズ「七星☆」

皆様のご理解とご協力を得て、七中サポーターズ「七星☆」の会員数は50人を突破しました（6月28日（金）現在）。個人で申し込まれる方や地区別に団体で申し込まれる方と様々です。学校にいらっしゃる方々は積極的な支援を口々にされます。大変有難く思います。先日6月29日（土）には、本校バスケットボール部の指導に3名の地域の方々が来校されました。個々の技術指導や戦術の確認をしてくださり、最後の大会である総体に向けてよい刺激となったようです。



なお、サポーターズの休憩室には冷蔵庫、テーブル、椅子、エアコン、サポートして下さる方々のための伝言板の設置が完了しておりますので、いつでもご来校頂けます。よろしくお願いいたします。

6月を振り返って

○命を大切に作るキャンペーン

6月3日から14日までの期間、全学級で「人権」や「いじめ」など、人の命の大切さについて考える題材を道徳の授業で行い、生徒会の活動として「いじめが起こらない学校」にするため、いじめ防止についての標語作成掲示、また本校独自の「いじめゼロ宣言」を行いました。廊下には全校生徒作成による標語が掲示されました。

○生活確立週間

6月17日から28日までの期間、2か月間の学校生活を振り返り、よりよい学校生活の習慣を確立することを目的に、あいさつ運動や学級委員による服装、頭髪の確認、チェックシートを使った1日の生活の振り返り等の活動を行いました。本校には、横断歩道で停車するドライバーにしっかりと会釈ができる生徒や、校内環境整備をしている職員に「有難うございます。」としっかりとお礼の挨拶ができる素晴らしい生徒が多くなりました。相手に誠意を示す態度はとても大事なことです。毎年実施される生活確立週間が生徒の意識を高めていったものと思います。



インドはい〜んど！？ ⑩

インドで家を借りる際には日本と違い、敷金や礼金は払いません。不動産屋を介さず、直接、貸主と契約書を交わします。そこには賃貸料を半年分もしくは1年分前払いをする旨の但書があり、入居時には莫大な費用が発生します。しかし、当時は物価が日本の1/3であったことから、3LDKの家賃は月当たり7万円程度であったため大きな出費は免れました。私が借りた物件は3階建ての2階で、1階には貸主夫婦が住み、3階には娘夫婦が住んでいました。家賃の支払いは1年目は半年分の前払い、それ以降は毎月支払う契約でした。毎月末には直接、階下に住む貸主のご主人に銀行の小切手を使い、家賃を支払っていました。小切手の扱いは難しく私のサインの不備で何度もご迷惑をお掛けしたことがありました。帰国後は銀行の小切手など扱うこともなかったのですが、私には大変良い勉強となりました。

